

木村俊子

民間シエルター運営補助金について質問。NPO法人が設立されて以来の相談件数は増加の傾向にあり、補助金の効果はあるとのこと。シエルターの役割はたいへん大きなものであることから、NPO法人と連携を図り、女性の力になることを要望。

高橋正美

④ 車両の集中管理について、一日最大稼働率100%の月が複数あるが、車両台数は適正となっているのか。

⑤ 9台ある緊急車両で補っているが、そのうちのマニュアル車2台の使用頻度が低いので、削減の方向で考えている。

辻弘之

登別小学校の飛翔やぐら再建に向けた協力姿勢のあり方を質疑。そもそも学習は単なる行事ではなく、総合学習の一環として位置づけられてきた。この教育活動の再建を有志だけに頼るのでなく、市としての支援策を明示すべきと提言する。

天神林美彦

市税における滞納繰越分の徴収状況を分析すると、年数が経過するほど徴収が困難になっている傾向にある。

初年度の対応が重要なポイントであることから、明確な数値目標や対応策などを掲げて徴収活動を行うべきである。

成田昭浩

児童生徒スポーツ振興助成金について質問。予算の7割程度の活用に残まっているが、今後多くの部活が全道、全国大会に出場する時には、行政が仲介となりマチ全体での支援体制を目指す。また、制度の周知についても工夫すると答弁。

西村孝夫

⑥ 審議を通して、業務推進のための仕事の目標・必要性が理解できているのか。担当者同士・部内・部門間の連携の希薄で、縦割り意識が強い仕事の進め方になっていないか疑問に感じるが見解は。

⑦ 今後課題解決に向けて取り組む。

平田江美子

⑧ 国保の一部負担金減免において、負担が困難な実情を押しさせているのは医療機関窓口と考えている。利用者が活用しやすいよう、窓口で制度を周知徹底すべきと考えるがいかがか。

⑨ 室蘭医師会と協議していきたい。

松山哲男

国や道からの委託金等の請求事務処理の流れや道民税徴収費等の予算額と調停額の差異の原因などを質問し、2年間の請求漏れが判明した。さらに、本件への対応、チェック体制、情報公開のあり方、他部門の点検などについて質した。

山口賢治

高額療養費に関する不適切な事務処理を踏まえ、今回は予算計上における収入の見込み予定と、実際に入ってきた収入のチェック体制がどのようになされているのかを重点的に問う。各部署の管理体制の強化を強く促した。

山田新一

⑩ 下水道事業区域に中登別地区を含む考え方はないか。

⑪ 浄化槽処理区域とするか、公共下水道区域とするかを、現在関係機関や北海道と詳細に協議している中で、平成22年1月までには方向性を出せる状況にある。

米田登美子

⑫ 男女共同参画社会の推進について、個人の意識醸成は図られたと市は認識しているようだが、企業等に対してはどのように推進していくのか。

⑬ 対象の拡大を図り、広報紙等で理解を求めていきたい。

渡辺勉

富士幼稚園跡地の有効活用について質問。利便地なので、子ども図書館、児童館や、老人福祉センターと世代間交流の場としても活用するなど、子ども中心の施設としての計画をたてるべきと提案。「検討したい」との答弁であった。

議会まめ知識

定例会とは

定例会は、定期的に招集される議会のことです。地方自治法において「毎年、条例で定める回数これを招集しなければならぬ。」と規定されています。

平成16年の法改正により、「通年4回以内」とする回数制限が撤廃され、回数はそれぞれの自治体において、条例で自由に規定することができるようになりました。

登別市では、平成19年の統一地方選挙後、定例会を年3回開催しています。また、最近では定例会を開催する期間を1年間とする「通年議会制」を実施している議会（白老町など）もあります。

編集後記

議会だより編集委員会では、これまで市民のみなさんからのご意見を参考に、顔写真の掲載など、少しずつ紙面の改善を図ってきました。今回は、これまで熱帯魚である「ディスカス」をモチーフとしたキャラクターから、市民にとっても愛着深い鬼のキャラクターに変更いたしました。鬼同様に、『議会だよりでいすかす』が、みなさんから愛着をもたれるような紙面構成に今後も努めてまいりますので、よろしくお願いたします。